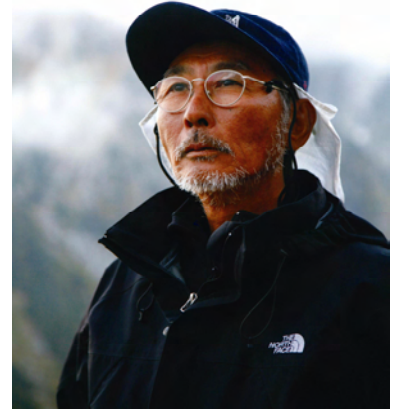


# 木村 大作氏 (カメラマン・映画監督)

## 木村大作氏プロフィール

1939年生まれ。東京都出身。1958年東宝撮影部にカメラ助手として映画界入り。1973年『野獣狩り』で初めて撮影監督に。代表作は、『八甲田山(77)』、『復活の日(80)』、『駅STATION(81)』、『火宅の人(86)』、『鉄道員(99)』など。『劔岳 点の記』で初めて監督を務める。2003年秋には、日本映画界における功績が認められ紫綬褒章を受章している。



## 功績概要

木村氏は、新田次郎原作「劔岳点の記」の映画を、瓦礫だらけの切り立った尾根、雪崩や暴風雨など想像を絶する誰もが尻込みするような困難が続く中で、撮影とあわせ監督まで一手に引き受け完成させた(平成21年6月20日に全国公開予定)。この映画は、国土地理院の前身である陸地測量部の測量官 柴崎芳太郎が、その険しさから針の山、死の山と恐れられていた前人未踏の劔岳に、過酷な条件下にもかかわらず三角点の設置を成し遂げた物語である。この映画の完成は、国民に対し、国土の状況を把握することの重要性や基準点の大切さに対する理解と関心を広く高めてくれるものである。

## 撮影風景

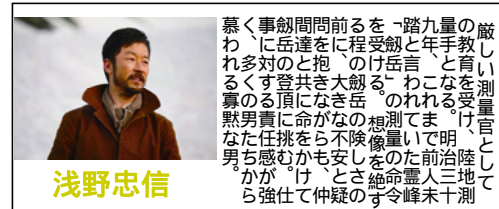


## 映画の登場人物

しばさき よしたろう  
柴崎芳太郎



浅野忠信



神奈川県出身 [1973年11月27日生まれ]  
 < 最近の主な出演作 > 映画:『風花』(01)、『座頭市』(03)、『地球で最後のふたり』、『珈琲時光』、『ヴィタール』(04)、『花よりもなほ』(06)、『インビジブル・ウェブ』、『サッド ヴァケーション』(07)、『母べえ』、『MONGOL』(08)、『鈍獣』、『ヴィヨンの妻 -桜桃とたんぽぽ-』、『リトルカントリー』(09)

おおくぼ のりあき  
大久保徳明



笹野高史



兵庫県出身 [1948年6月22日生まれ]  
 < 主な出演作 > 映画:『男はつらいよ』シリーズ、『釣りバカ日誌』シリーズ、『響すの音』、『武士の一分』(06)、『母べえ』、『おくりびと』、『次郎長三国志』、『ハッピーフライト』(08)TV: NHK大河ドラマ『義経』、『徳川三代』(00)、『朝の連続テレビ小説』『瞳』(08)

参謀本部陸地測量部測量手。明治39年、これまで前人未踏といわれた霊峰「劔岳」の測量の命令を受ける。

陸軍軍人。明治39年7月、陸軍少将に進級し参謀本部陸地測量部長に着任。最終階級は陸軍中将。

【 陸地測量部 (りくちそくりょうぶ) 】とは

参謀本部の外局で国内外の地理、地形などの測量・管理等に当たった現在の国土地理院の前身の一つである国家機関。